

四半期別マネーフローの速報

(昭和34年7~9月期)

本月号から当局作成の四半期別マネーフロー「金融取引表」を定期的に発表することにし、ここに第1回発表分として昭和34年7~9月期分を掲載する。なお発表は各期とも約3か月の遅れとなる見込みである。(同年4~6月期分は34年12月号67ページを参照されたい。)

四半期別金融取引表 (34年7~9月期)

(単位・億円)

区 分	金 融		日本銀行		市中金融		政 府		外為資金		公 社 公 団 お よ び 地 方 公 共 団 体		法 人 企 業		個 人		海 外		合 計	
	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債	資産	負債
通 貨	183	807		150	362	836	3	210			-45		749		127				1,017	1,017
(現金通貨)	(183)	(-29)		(-29)	(183)	(10)	(27)			(70)		(-182)		(-83)					(-2)	(-2)
(当座性預金)		(-277)		(179)	(179)	(-277)	(-7)	(79)		(6)		(-189)		(-8)					(-198)	(-198)
(短期性預金)		(1,113)				(1,113)		(104)				(-121)		(1,120)		(218)			(1,217)	(1,217)
政府当座預金		-315		-315			-315		-23										-315	-315
貯蓄性預金等		3,078				3,078		492			129		1,040		2,401				3,570	3,570
有 価 証 券	394	863	-582		976	863	490	-196	-140	-14	177	289	892	577					1,736	1,736
(短期証券)	(-930)		(-930)				(797)	(-145)	(-140)	(-14)		(2)							(-145)	(-145)
(公 債)	(351)		(348)		(3)		(-350)	(-90)			(33)	(3)		(-61)					(-57)	(-57)
(社 債)	(600)	(457)			(600)	(457)	(18)	(39)			(144)	(174)	(328)	(176)					(968)	(968)
(株 式)	(367)	(78)			(367)	(78)	(25)					(84)	(564)	(166)					(642)	(642)
(投資証券)	(6)	(328)			(6)	(328)						(26)		(296)					(328)	(328)
日銀貸出金・借入金	373	373	373			373													373	373
貸出金・借入金 (割引手形)	4,259				4,259		495				48		4,143		563				4,754	4,754
	(1,726)				(1,726)							(1,512)		(214)					(1,726)	(1,726)
政府預託金		199				199	199	170	36	310	170								369	369
企業信用												2,493	2,213		280				2,493	2,493
そ の 他	4	72	105	-22	4	199	4	7			15	25	14	75					108	108
外貨準備高 外国為替対 その他対外 債権債務	11	170	11		170	50	113		113				49		99	124	124	124	124	269
	20		16		4	972	649	42	1	2	70	156		827	1,042	1,869	1,869	1,869	1,869	269
資金過不足(-)		247		78		169		629	-3	-2		-2,801		2,337		-410				
合 計	5,394	5,394	-93	-93	5,771	5,771	1,961	1,961	168	168	240	240	4,666	4,666	3,180	3,180	926	926	16,367	16,367

(注)

1. 部門構成

- (イ) 金融部門は①日本銀行と②市中金融部門の2内訳部門の統合部門であって、このうち市中金融部門には全国銀行・同信託勘定・相互銀行・信用金庫・商工中金・農林中金が含まれる。
- (ロ) 政府部門はその構成単位の活動機関によって、①外為資金、②資金運用部、③政府金融機関、④政府一般部の4内訳部門に分れるが、ここでは紙面の制約から外為資金を掲示するにとどめる。

2. 取引分類

- (イ) 当座性預金……当座預金・郵便振替貯金。
- (ロ) 短期性預金……普通預金・通知預金・別段預金など。
- (ハ) 貯蓄性預金等……定期預金・定期積金・信託(投信を除く)・簡保および郵便年金など。
- (ニ) 政府預託金……内地指定預金・外貨預金・農中前渡金・公社の国庫預託金など。
- (ホ) 資金過不足(-)……これは各部門の金融取引尻であり、資金不足(金融負債純増)は非金融取引面における投資超過に、資金余剰(金融資産純増)は貯蓄超過にそれぞれ対応する。海外部門の動きはわが国の国際収支を相手国の立場からみたもので、その資金不足はわが国の国際収支が受超(輸出超過)であることを示す。